

# 有田小学校における 全国学力状況調査 の結果について

学校教育目標

笑顔あふれる楽しい学校

～一人になれる

～一つになれる～

令和元年10月15日

玉城町立有田小学校

## 全国学力・学習状況調査の結果について

4月18日に実施しました全国学力・学習状況調査について、有田小学校の状況をお知らせします。学力面において、国語、算数ともに今年度も県平均、全国平均を上回り、2年連続でよい結果でした。この結果は、学校だけでなく家庭・地域での取組が進み、そのことが子ども達一人ひとりの頑張りにつながったことを示すものだと考えます。これらは単に、問題が解けるようになったということのほか、授業や家庭学習、地域の活動等に向かう子ども達の意欲的・積極的な姿勢がより前向きになったことを示すものだと思います。ご一読いただき、今後の家庭でのご指導の参考にさせていただきますようお願いします。

### 【1 学力調査について】

本校の児童は、集中して調査に取り組んでいました。問題に対して「わからない」とあきらめてしまう「無解答」は、一昨年度と昨年度に引き続き、ほとんどありませんでした。学習内容が定着しており、それを活用して粘り強く取り組んだと言えます。また、記述式の問題に対しても自分の考えを書くことができおり、考える力・書く力が育ってきていると言えます。

全体の結果としては、国語、算数ともに全国平均を上回りました。全国平均を上回った問題数は、国語は14/14、算数は9/14（全国平均を上回った問題数/全問題数）という結果でした。

しかし、県平均、全国平均を上回っていても、正答率としては低い問題があります。また県平均、全国平均を下回りさらに正答率の低い問題もありました。これらは本校の弱みであります。その点について以下、国語、算数について述べます。

#### <国語について>

((①三 (34.4%、30.1%、28.8%) (本校正答率、県正答率、全国正答率))

この問題は、公衆電話について調べたことを【報告する文章】の枠内に、「調査の内容と結果」から分かったことをまとめて書くことを問われています。この問題には3つの条件があり、それに適応するような文章を作成していかなくはなりません。目的や意図に応じて、まとめる力が必要です。

((①四 (1) ウ (37.5%、33.7%、35.6%) (本校正答率、県正答率、全国正答率))

この問題は漢字の問題です。「公衆電話についてかんしんをもつ」という文章のかんしんに適応する漢字は何か問われています。同音の熟語はいくつかありますが、文意を考慮して適切な漢字を記入する力が必要です。

((①四 (2) (53.1%、47.3%、47.8%) (本校正答率、県正答率、全国正答率))

この問題は、相手にわかりやすい文章にするために、長い文章を適切な接続詞を使って簡潔に表現していくことが問われています。文と文との意味のつながりを考えながら、接続詞

を使って内容を分けて書く力が必要です。

#### <算数について>

(① (3) (31.3%、40.1%、43.9%) (本校正答率、県正答率、全国正答率))

この問題は示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述することを問われています。数や演算の表す内容を明らかにして説明する力が必要です。

(② (3) (46.9%、51.3%、52.1%) (本校正答率、県正答率、全国正答率))

この問題は二つの棒グラフから、一人当たりの水の使用量の変化を読み取ることが問われています。資料の特徴や傾向を関連付けて一人当たりの水の使用量の増減を判断する力が必要です。また、「一人あたり」「1時間あたり」「1ℓあたり」等の単位量の考え方に生活の中でも慣れていく必要があります。

(③ (2) (21.9%、29.6%、31.1%) (本校正答率、県正答率、全国正答率))

この問題は示された計算の仕方を解釈し、減法の場合をもとに、除法に関して成り立つ性質を記述することを問われています。前述の内容を理解し、その内容を算数用語を正しく使い記述する力が必要です。

(③ (4) (28.1%、44.3%、47.0%) (本校正答率、県正答率、全国正答率))

この問題は  $180 \div 0.6$  の解答は  $1800 \div 6$  から求めることができ、その除法の式の意味を理解し、さらに問題をよく読み、何を問われているのかを明確にする力が必要です。

#### 【2 学校としての今後の取り組みについて】

以上が本校において正答率が低かった問題です。国語についてはいずれも県平均と全国平均より上回っていました。算数においてはこれらの4つの問題については県平均と全国平均より下回っていました。これらから、課題の意味を理解し、わかりやすく論理的に説明できる力をつけていく必要性が見えてきました。そこで、普段からどのように話をすれば相手にわかりやすく伝えることができるかを考えていくことに注力していきます。また、「一人あたり」といった単位量をもとに思考していくことにも慣れさせていきたいと考えています。

今後、「わかる授業」に向けて、授業改善についてさらなる研究を進め、自分の考えをしっかりと持ち、それを伝え合い学び合う授業づくりをめざしていきます。特に算数科では、習熟度別学習の取り組みを充実させることにより、より理解力を深めていきます。

授業において、学び合いを進めるためには、子どもたち同士がお互いの考えを尊重し何でも言える雰囲気をつくっていくことが大切です。そのためにも、がんばりを「認める、励ます、ほめる」ことを大事にしながら学習で鍛えることを進めていきたいと考えています。今後ともご理解ご協力よろしくお願ひいたします。

13

三 高橋さんは、「3 調査の結果をもとに考えたこと」の [ ] に「2 調査の内容と結果」の (1) と (2) で分かったことをまとめて書いています。 [ ] に入る内容を、次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

- 「2 調査の内容と結果」の (1) と (2) の両方から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 【報告する文章】にふさわしい表現で書くこと。
- 書き出しの言葉に続けて、四十字以上、七十字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

※左の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。  
 ※◆の印から書きましょう。とちゆうで行を変えないで、続けて書きましょう。

調査の結果から、公衆電話は、わたしたちにとって 必要がなくなってしまったわけではないと考えました。	
なぜなら、◆	
	40字
	70字

14 (2)

(2) 高橋さんは、読み手に伝わりやすくするために、【報告する文章】の [ ] の文を二つの文に分けて書き直すことにしました。文と文をつなぐ言葉には「そこで」を使います。書き直した一文目の終わりの五文字と、二文目の「そこで」に続く五文字を書きましょう。なお、読点(、)も字数にふくみます。

公衆電話を必要ときに使うことができるようにするためには、どのような場所に設置されているのかを前もって知っておくことが大切だと思ったので、わたしは、公衆電話の設置場所を確かめてみることにしました。

[ ] 。そこで、 [ ]

※解答は、解答用紙に書きましょう。

① (3)

(3) ゆうたさんたちは、2つの合同な台形で作られた図1の形の面積を求めようとしています。

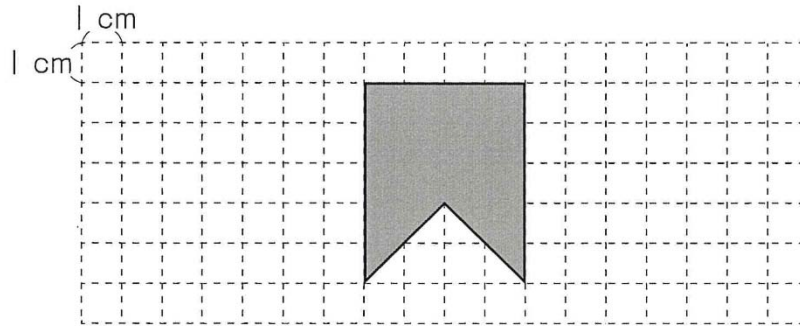


図1

図1の形の面積は、 $16 \text{ cm}^2$ であることがわかりました。



ちひろ

わたし  
私は、ほかの求め方を考えました。

【ちひろさんの求め方】

$$5 \times 4 = 20$$

$$4 \times 2 \div 2 = 4$$

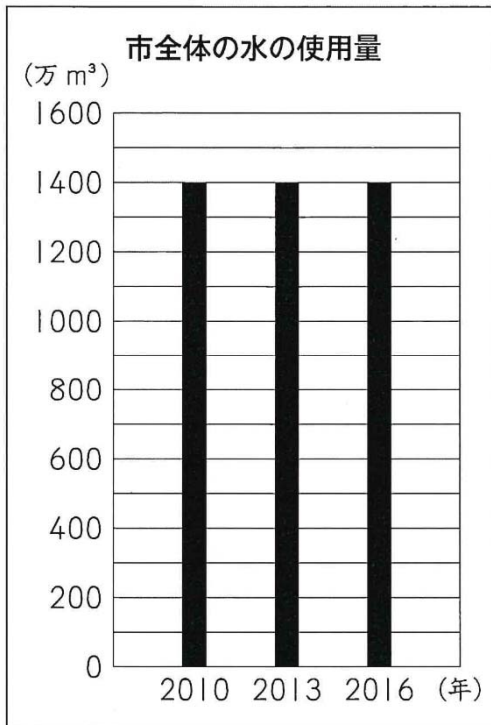
$$\underline{20 - 4} = 16$$

答え  $16 \text{ cm}^2$

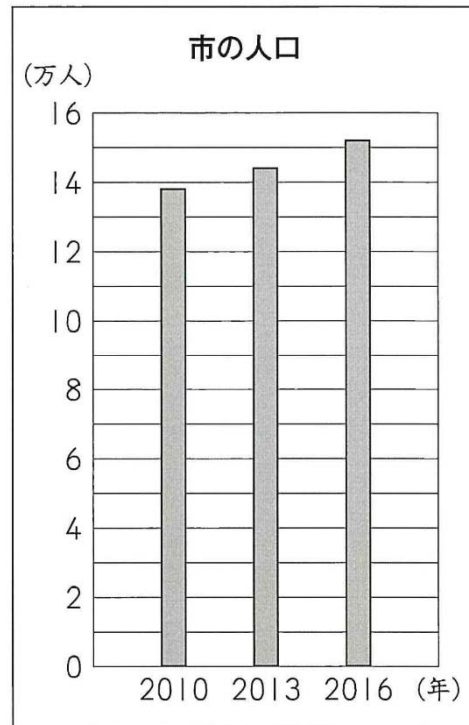
【ちひろさんの求め方】の中の「20 - 4」は、どのようなことを表していますか。「20」と「4」がどのような図形の面積を表しているのかがわかるようにして、言葉や数を使って書きましょう。

② (3)

グラフ2



グラフ3



あやのさんが言うように、**グラフ2**と**グラフ3**を見ることで、2010年から2016年までの1人あたりの水の使用量についてわかることがあります。

2010年から2016年までの、3年ごとの1人あたりの水の使用量について、どのようなことがわかりますか。

下の **1** から **4** までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

また、その番号を選んだわけを、**グラフ2**と**グラフ3**からわかることをもとに、言葉や数を使って書きましょう。

- 1** 1人あたりの水の使用量は、減っている。
- 2** 1人あたりの水の使用量は、変わらない。
- 3** 1人あたりの水の使用量は、増えている。
- 4** 1人あたりの水の使用量は、増えたり減ったりしている。

③ (2)

ゆいなさんは、くり下がりのあるひき算を計算したときにもとにした考えをふり返って、次のようにまとめました。

【ゆいなさんがまとめたこと】

ひき算では、  
ひかれる数とひく数に同じ数をたしても、  
ひかれる数とひく数から同じ数をひいても、  
差は変わりません。  
このことを使うと、計算しやすいひき算の式で考えることができます。

ことねさんは、 $400 \div 25$  や  $90 \div 18$  のようなわり算についても、計算しやすい式にすることができると思います、下のようを考えました。

【ことねさんの計算の仕方】

$$\begin{array}{ccc} 400 \div 25 = \square & & \\ \downarrow \times 4 & \downarrow \times 4 & \curvearrowright \text{変わらない} \\ 1600 \div 100 = 16 & & \end{array}$$

だから、 $400 \div 25$  の答えの  $\square$  は、16です。

$$\begin{array}{ccc} 90 \div 18 = \square & & \\ \downarrow \div 9 & \downarrow \div 9 & \curvearrowright \text{変わらない} \\ 10 \div 2 = 5 & & \end{array}$$

だから、 $90 \div 18$  の答えの  $\square$  は、5です。

- (2) ひき算について書かれた【ゆいなさんがまとめたこと】と同じように、わり算についても、【ことねさんの計算の仕方】をもとにまとめると、どのようになりますか。

下の        の中に、「わられる数」、「わる数」、「商」の3つの言葉を使って書きましょう。

わり算では、

※ 解答は、すべて解答用紙に書きましょう。

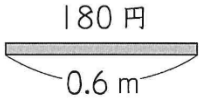
このことを使うと、計算しやすいわり算の式で考えることができます。

③ (4)

(4) ゆいなさんは、下の問題について考えています。

問題

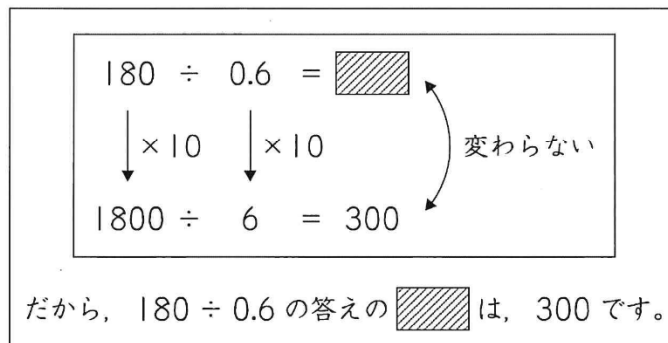
リボンを 0.6 m 買ったときの代金が 180 円でした。このリボン 1 m 分の代金は、いくらですか。



The diagram shows a horizontal line representing a ribbon. Above the line, the text '180 円' is written. Below the line, a curved line indicates a length of '0.6 m'.

1 m 分の代金は  $180 \div 0.6$  の式で求めることができます。

ゆいなさんは、次のように、小数のわり算を整数のわり算にして答えを求めました。



The diagram shows two equations. The top equation is  $180 \div 0.6 = \square$ , where the square is shaded with diagonal lines. Below the top equation, two arrows point down to the bottom equation. The left arrow is labeled  $\times 10$  and the right arrow is labeled  $\times 10$ . The bottom equation is  $1800 \div 6 = 300$ . A curved arrow on the right points from the shaded square in the top equation to the number 300 in the bottom equation, with the text '変わらない' (unchanged) written next to it.

だから、 $180 \div 0.6$  の答えの  $\square$  は、300 です。

$1800 \div 6$  は、何 m 分の代金を求めている式といえますか。

下の **あ** から **え** までの中から 1 つ選んで、その記号を書きましょう。

- あ** 0.6 m 分の代金
- い** 1 m 分の代金
- う** 6 m 分の代金
- え** 10 m 分の代金







